

## は じ め に

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、我が国では、平成 22 年の人口 1 億 2,806 万人、生産年齢人口割合 63.8%、高齢化率 23.0%に対して、30 年後の平成 52 年には人口 1 億 728 万人、生産年齢人口割合 53.9%、高齢化率は 36.1%になると見込まれています。本県でも、平成 11 年以降は死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いており、今後人口減少をいかに緩和し、歯止めをかけていくかが大きな課題となっています。

本県では、平成 27 年 10 月に「安心・活力・発展プラン 2015」を策定し、本格的な人口減少社会の到来を見据え、一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりを推進する「子育て満足度日本一」に加え、「健康寿命日本一」を新たに掲げ、健康長寿・生涯現役社会の実現などに取り組んでいるところです。

過去に例のない状況のなかで、ライフステージに応じた県民ニーズに的確に対応し、安全・安心な生活環境や、持続可能な社会保障を実現するためには、地域の実態や特性の分析が必要であり、その基礎となる保健統計はますます重要となります。

この年鑑は、平成 26 年における人口動態統計、医療施設調査、病院報告、地域保健・健康増進事業報告等の調査結果をとりまとめたものです。この年鑑が行政に携わる方々だけでなく、皆様に幅広く活用していただければ幸いです。

結びに、この年鑑を刊行するに当たり、統計調査に御協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 29 年 1 月

大分県福祉保健部長 草 野 俊 介